

ロンドン便り(London School of Hygiene and Tropical Medicine に留学して)

土屋菜歩

2012年9月から、ロンドン大学衛生学熱帯医学大学院(London School of Hygiene and Tropical Medicine: LSHTM)で学んでいます。LSHTMはロンドン大学の一部で、グローバルヘルスと公衆衛生に関する一流の世界規模の研究、教育機関として広く知られています。100カ国超の国々から4000名の学生が集まり、公衆衛生学、熱帯医学、疫学、感染制御学、栄養学と多岐にわたる22の修士課程で学んでいます。私の在籍するコースはMSc Epidemiologyという1年間の疫学修士課程です。クラスメートはフルタイム、パートタイム、distance learning 合わせて約40名、18カ国から集まっています。臨床医、海外プロジェクト経験者、エコノミスト、人類学者、研究者・・・と経歴も年齢も様々ですが、疫学というツールを身につけて自分の分野に生かしたい、という明確な目的を持って来ている人が多いです。

MScの1年はterm1から3までの3学期制です。Epidemiologyのコースは他のコースに比べて必須科目が多く、選択肢は多くありませんが、疫学・統計を集中して学べる構成になっています。term1で基礎を学び、term2,3ではより実践的かつadvancedな内容に進みます。授業はほとんどが講義・実習の組み合わせです。講義で習ったことを用いてグループで討論・発表を行ったり、データ解析をしたりします。講義でも実習でも次々と意見や質問が出て非常にinteractiveです。学生皆の意見の一致するところですが、LSHTMの最大の魅力は講師陣と講義資料の素晴らしさです。実際のデータがふんだんに入った講義資料を用い、自分が文献や教科書でよく目にしていて人の講義を受け、気軽に質問や討論ができるという信じられないくらい恵まれた環境です。他大学とのjoint seminarやLancetのlecture seriesなど魅力的なセミナーや講義も頻繁に開かれており、学問的な刺激にあふれています。自分のこれまでのフィールドでの経験を論理的に裏打ちし、さらに広げてくれる知識と手法を学べる毎日に喜びを感じる日々です。

充実したサポート体制も特筆すべきところです。全生徒に1人ずつチューターが割り当てられ、1年を通じてサポートしてくれます。授業には必ず学期の途中や最後にreview sessionや小テストがあり、自分の到達度を確認し、弱点を強化できるようになっています。学生は授業内容や講師陣についてのfeed backを提出し、その内容は公開され、次年度以降の授業に活かされています。他にもキャリア相談、英語やパソコンのスキルアップのコース、社会経済的なサポートなど、たくさんの人と部署が関わって包括的なサポートが得られる仕組みになっており、私もよく利用しています。

仲間のよさを実感できたことも収穫の一つです。グループワークを通して自分の意見がより明確になり、異なった視点での見方に気づき、より大きな成果を上げることができます。Epidemiologistは常にチームの一員としてプロジェクトに関わります。LSHTMでの経験は今後チームで仕事をしていくよい訓練になっています。また、勉強に行き詰ったときにも一緒に乗り越えていく仲間がいるというのは最高に心強いです。クラスはみな仲が良く、授業以外にもいろいろなイベントを企画したり情報交換したりしています。授業では他のコースの学生とも一緒になるので、そこでも人間関係が広がっています。私と同じように家族や子供を連れてきている同級生も少なくないので、時間のマネジメントや子供のこともよく相談しあっています。

良いことばかり書いてきましたが、最初の1-2ヶ月は環境に慣れるのにやはり苦労しました。英語で積極的に議論に参加すること、特に相手と反対の意見を述べるということが難しく、タイミングを見計らっているうちに何も言えず終わり自己嫌悪に陥ることもしばしばでした。授業中に1回は自分の意見を述べる、と小さな目標を立ててクリアするようにし、同じような海外留学生、他のコースの日本人留学生とも励まし合いながらやってきました。今では大分楽に討論できるようになりました。

毎日が本当にあつという間に過ぎていきます。5月半ばで授業は終わり、6月の試験の後はいよいよ修士論文となる summer project が本格的に始まります。あと半年、与えていただいた貴重な時間の中で、より多くのことを吸収し身につけて帰りたいと思っています。最後に、留学の機会を与えて下さった有吉教授と熱研内科の先生方、関係の方々に心より感謝申し上げます。



疫学の父と言われる John Snow の井戸の前でクラスメートと